

亀岡市仏教会報

第41号

亀岡市仏教会

(会長 眞福寺 満林晃典)

令和6年11月15日

発行

能登半島地震

被災地支援活動のご報告

令和6年7月24日から26日にかけて、石川県七尾市にて能登地震の災害支援ボランティアに参加しました。役員で現地へ赴く予定でしたが、檀務等により満林晃典 会長と理事の延福寺 松下暢樹師が現地へ向かいました。

眞宗大谷派のボランティアセンターとして開設された能登教務所に宿泊させていただき支援活動を行いました。



7月下旬の猛暑の中で体力的にも厳しい状況でしたが、能登教務所ボランティア支援センター職員さんと共に被災地の復興支援に尽力しました。



現在も家財道具の撤去などが続いています。

支援の一環として、仏教会から救援金10万円を現地にお届けしました。直接お渡しすることで、少しでも住民のお役に立つことができればと考えています。



また、被災した輪島市門前町の大本山總持寺祖院（曹洞宗）や和倉温泉などを視察し、その損傷の深刻さに胸を痛めました。メディア等で報道もされていますが、現地は発災から時間が止まったような状況の場所も多くあり、復興への道のりは長く厳しい状況が続いていることを実感しました。



そのような中、9月には奥能登豪雨が発生し、強い打ちをかけるような被害が生じたことに深い憂慮を抱いております。豪雨による被害は、地震からの復興をより困難にしており、私たちも今後、引き続き支援の機会を模索していく所存です。

今回の活動で改めて、災害への備えと、困難な状況にある方々への継続的な支援の重要性を感じました。亀岡市仏教会として、地域と連携しながら、今後も支援の輪を広げていけるよう努力してまいりたいと思います。



曹洞宗總持寺祖院。前回の地震から復興したがまた大きな被害を受けました。

「かめおか防災・安全安心フェスタ2024」参加協力

去る令和6年10月8日(日)に亀岡運動公園で開催された「かめおか防災・安全安心フェスタ2024」に参加しました。

当日は、防災について学べる各種団体のブースのほか、大規模災害を想定した避難所開設・運営訓練が実施されました。

当会は、昨年、亀岡市と「災害時における一時避難所提供に関する協定」、社会福祉協議会と「災害時における協力体制に関する協定」を締結しています。

災害発生時に、具体的にどのような対応すればよいかわね視されるところですが、避難者の受け入れを効率的かつ効果的に行えるよう、訓練を通して避難所開設手順について確認しました。



「亀岡市防災士養成講座」受講

令和6年11月9日(土)・10日(日)に市民ホールで開催された「防災士養成講座」に役員2名が参加しました。地域の防災力の向上を目指し、令和4年から開催されています。今年度は定員50名を上回る68名が受講し、市民の意識の高さがうかがえました。2日間の講義を受講後、日本防災士機構による資格試験が行われました。



ご案内

令和6年度「成道会」法要

来る令和6年12月9日(月)にひえ田野町・神蔵寺にて本年度の「成道会」法要を執り行います。皆様もぜひともご参加ください。

日時：令和6年12月9日(月)

午後2時〜午後4時半頃

会場：神蔵寺(臨済宗妙心寺派)

亀岡市稗田野町佐伯岩谷ノ内院ノ芝60